

令和4年度 事務事業評価シート（1）

【令和3年度事務事業】

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	社会教育関係団体支援事業			事業番号	038-075
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性		⑥生涯学習の推進	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名		目標値	
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	第3期未来をつくる堺教育プラン、堺市子ども・子育て支援事業計画		
3	事業開始年度	昭和 24 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会教育法第10条、第11条及び第12条、堺市 P T A 教育振興事業補助金交付要綱、堺市子ども会育成協議会運営事業補助金交付要綱、堺市女性活躍振興事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人物、対象数)	堺市PTA協議会、堺市子ども会育成協議会、堺市女性団体協議会 (令和3年度実績)	対象数	3	単位	団体
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】各学校園PTA相互の連携に努め、PTA会員に対して学習の機会や情報を提供することにより、会員の資質向上及び家庭の教育力の向上を図るとともに、PTA活動の活性化のための支援及び指導・育成を図る。 ■【こども会】堺市ブロックこども会育成団体及び堺市小学校区こども会育成団体との緊密な連携のもとに、堺市こども会育成協議会の主体的な活動の支援及び指導等を図る。 ■【女性活躍】女性がその個性と能力を十分に発揮し活躍できる環境の醸成を図る。 				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】堺市PTA協議会・校園種別等PTA協議会における研修会の開催を支援するとともに、広く泉北・堺市地区PTA協議会・大阪府PTA協議会・近畿ブロックPTA協議会・日本PTA全国協議会の情報提供を支援し、会員の資質向上を図る。 ■【こども会】以下の堺市こども会育成協議会の活動に対する支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・文化活動、交流事業等の異年齢間交流を通して、子どもたちがルールを守ること、お互いを思いやること等の社会規範を学ぶ。 ・ブロック別指導者研修会等により指導者・育成者としての資質向上及び意識啓発を図る。 ・ホームページの活用により、こども会の魅力を発信する。 ■【女性活躍】堺市内において、女性活躍の振興に資する事業を主体的かつ積極的に担う社会教育関係団体を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・固定的な性別役割分担意識の解消等ジェンダーへの啓発 ・DV、児童虐待防止対策 ・グローバルな観点から女性の人権問題の解決 				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市PTA協議会、堺市子ども会育成協議会、堺市女性団体協議会				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
	【こども会】 堺市こども会育成協議会加入者数(6月末)	人	目標値	19,000	16,000	14,000	18,500
		実績値	15,660	13,563			
当該指標を選定した理由		学校・家庭・地域の連携を図り、本市がめざす「横にひろがる教育」を推進することに対して、大きく寄与しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		<ul style="list-style-type: none"> ■令和4年度の目標値は、前年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により本協議会の活動について一部抑制しているため、加入者数は前年並になる見込み。 ■令和7年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和2年度824,000人と令和7年度802,000人を対比し、令和2年度の目標値から△2.7%の減少を見込む。 					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	【こども会】 中央スポーツ大会等のイベント開催数	回	目標値	9	9	11	
		実績値	0	11			
当該指標を選定した理由		イベントの開催数は、本協議会活動の活性化の指標であり、魅力あるイベントの開催は加入への動機づけにつながるものであるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度及び前々年度の実績から設定。					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	社会教育関係団体支援事業	事業番号	038-075
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	8,754	4,510	8,505	6,976	8,488
13 財源内訳					
国支出金					0
府支出金					0
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	8,754	4,510	8,505	6,976	8,488
14 人件費 (b)	19,820	18,290	16,480	18,585	19,805
15 年間経費(c)=(a)+(b)	28,574	22,800	24,985	25,561	28,293

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	R3 決算	1,987	1,987	会計年度任用職員報酬	R3 決算	0	0
	R3 決算	398	398	期末手当(会計年度任用職員)	R3 決算	33	33
	R3 決算	0	0	費用弁償(通勤費)	R3 決算	853	853
	R3 決算	2	2	普通旅費	R3 決算	2,391	2,391
	R3 決算	8	8	有料道路通行料	R3 決算	1,304	1,304

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		千円	千円
① 【こども会】堺市こども会育成協議会加入者数(6月末)	人	15,660	13,563
② 上記①にかかる年間経費	千円	13,889	12,428
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	887	916
備考(算出についての説明等) ①にかかる補助金充当額及び人件費を記載			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】 子育て中の親に必要な専門的知識を提供していくことは子どもの健全育成に資するものであり、研修会は親同士が集まる交流の場ともなる。情報共有や各家庭、学校園とのつながりが増えることで「横にひろがる教育」の推進につながると考え、費用に表わせない効果が大きい。 ■【こども会】 スポーツ・文化活動、交流事業等の異年齢間交流を通して、子どもたちがルールを守ること、お互いを思いやること等の社会規範を学んだり、指導者研修会等により指導者・育成者の資質向上を啓発する場の提供ができるため、「横にひろがる教育」の推進につながると考える。令和2年度から令和3年度にかけて、コロナ禍の影響により、年間経費が縮減したが、それ以上に堺市こども会育成協議会加入者数も減少したため、単位あたり経費が上昇したものの。 ■【女性活躍】 ジェンダーへの啓発、DV・児童虐待防止対策、グローバルな観点から女性の人権問題の解決に関する研修会等の事業の実施で、すべての人が、互いにその人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画し、創造できる「男女共同参画社会の実現」の推進につながると考え、費用に表わせない効果が大きい。
----	--

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】 PTAについては、堺市PTA協議会・校園種別等PTA協議会におけるコロナ禍での活動を支援するとともに、広く泉北・堺市地区PTA協議会・大阪府PTA協議会・近畿ブロックPTA協議会・日本PTA全国協議会の情報提供を支援し、各種研修会等への参加を促すことにより、生涯学習の推進に寄与した。 ■【こども会】 堺市ブロックこども会育成団体及び堺市小学校区こども会育成団体との緊密な連携のもとに、堺市こども会育成協議会の主体的な活動の支援及び指導等を通じ、こども会育成団体内での異年齢児童や地域住民との交流を行い、生涯学習の推進に寄与した。 ■【女性活躍】 ジェンダーへの啓発等を目的とする講演会、研修会、推進リーダー育成、シンポジウム、交流活動等に係る事業への支援を通じて、女性がその個性と能力を十分に発揮し活躍できる環境の醸成を図ることができた。
----	---